

## 2019 年度秋季研修会アンケート集計

開催日:令和元年 10月27日(日)

場所:東京医科歯科大学

### ①参加者(学年) (人)

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
人数	3	9	4	5	4	3	28

### ②参加理由 (人)

貸与者として参加すべき	他大学生・医師との交流	年1回の研修会等の参加	会場が現住所に近い	他
23	4	6	13	1

その他の理由:南牧の小林先生がいらっしゃるから

### ③秋季研修会について

#### A) 開催日と時間 :平均 4.3

- 1年 ・ 来年以降は分からないが
- 2年 ・ 比較的時間に余裕のある時期で助かった
  - ・ テストの前日なので迷いました
  - ・ 試験日程と毎回近い
- 6年 ・ 卒試が近くて少し焦りました

#### B) 開催会場:平均 4.5

- 1年 ・ 自分の大学なのでありがたい
- 2年 ・ 近くてよかったです
- 2年 ・ 案内が少ない。会場のもっと手前から設置してほしい
- 3年 ・ 会場が少し分かりにくかったです
- 4年 ・ 車出していただいて助かりました

#### C) 講演:平均 4.7

- 1年 ・ 知識が増えてよかった
- 2年 ・ ACP について深く学べた
- 4年 ・ ACP が、かなり参考になった
- 6年 ・ 普段考えない死について考えることができてよかった

D) グループワーク:平均 4.6

- 1年 ・ 楽しかった
- 2年 ・ 学んだことを自分の立場におきかえて考えることができた
  - ・ 和気あいあいと出来ました

③今回の研修会に参加して良かったことは何ですか

- 1年 ・ 新たな知識が増えたので良かったです
  - ・ 実際に地域医療に関わる先生から話を聞くことができ、実際に働いているからこそ感じることを知ることができました。また、グループワークを通じて、多様な考え方を知ることができました
  - ・ ACP が本題であったが、実際の臨床の中で働いている小林先生からのお話を聞くことができたので貴重な機会になった
- 2年 ・ ACP という、自分が知らなかった考え方についていて実践を交えながらしっかりと学ぶことができた
  - ・ 特にもしばなゲームは、初めて自分の最期について深く考える機会になった
  - ・ 医師として働くうえで大切な死生観について深く考えることができた
  - ・ また、ACP について学ぶことで、患者との接し方についても考え直すことができた
  - ・ 講演を聴くことで終末期医療について考えられた
  - ・ ACP について学べた
  - ・ 講演やグループワーク(ゲーム)を介して ACP に関して詳しく学ぶことができました
  - ・ 有意義な内容でした
  - ・ ACP について理解できた
  - ・ カードゲームを用いてのグループワークだったので、いつもやるグループワークよりも楽しく色々な大学の人とできて良かった
  - ・ 地域医療の詳しい話を聞いた
  - ・ 小林先生のお話は、大変自分のためになりました
  - ・ 患者さんとの関係や、命に関わることを伝えるときなど、壁は多いですが、先生のお話を1つの例として参考にしたいと思いました
- 3年 ・ 治療指針の決定の現状を知ることが出来て良かった
  - ・ 行動経済学の話を用いて、解説して頂いたのが分かりやすく、理解が深まった
  - ・ 個人の死生観だけでなく国全体のあり方にも関わる内容で、とても深い話であり、聞くことができたので良かった
  - ・ 小林先生のお話がとてもわかりやすく、ACP の変遷が面白かった
  - ・ ACP についてよく分かった
  - ・ 患者の意思決定支援も、なんとなく患者の考えを尊重しようと思っているだけではダメなんだと思う。色々勉強しなければと思えた
  - ・ ACP について考えることができた
  - ・ グループワークが、とても楽しく実践的に学ぶことができた

- 4年
  - ・ ACP、初めて聞いた時は難しそうだったが、グループワーク等を通じて少し分かった
  - ・ 医師へのモチベのアップ
  - ・ 終末期の患者の心境について考えることはあったが、今回のようにゲーム感覚で他人と意見を交換して自分の考えを整理し、発言することができて面白かった
  - ・ 僻地医療について知ることができた。ACP の考え方が分かった
  - ・ 小林先生のお話がためになった
- 5年
  - ・ 最後を迎えるとき、大事にするものは人それぞれで、医師はそれを汲みとる必要があると思った
  - ・ ACP について学ぶことが出来、又もしバナにより、うまく自分の中で消化できたように感じる
  - ・ 総合研修医についての知識を深めることができた
  - ・ ACP という概念と実践について知ることができたこと
- 6年
  - ・ 面談で中澤先生に色々と相談できてよかった
  - ・ 他の大学の学生と交流できてよかった
  - ・ 緩和ケアと一口に言っても、その裏には色々な概念が含まれていて、ACP というものがあることを知れた

死について考えるゲームをでき、自分はとても自分を中心に考えているが、遺された人のことを考えられている人も多く、感心した

#### ④気になる点、問題点はありましたか

- 2年
  - ・ 日程についてのアンケートをとってほしいです。毎回試験と近くて、非常に困ります
- 4年、6年のときは、CBT や国試があるため、できれば免除を考えて頂きたいです
- 特に4年の秋は CBT/OSCE、春にはもう実習が始まってしまうので
- 5年
  - ・ 研修先の病院をどこにしようか考えようと思った

#### ⑤来年度以降の研修会の、開催日、会場、研修会の内容、などについての希望

- 1年
  - ・ 医科歯科でやってほしいです
- 2年
  - ・ 今年に引き続いて医科歯科で開催していただけると参加し易いです
  - ・ 来年度も医科歯科だと嬉しいです
  - ・ 1回は東京で開催してほしい
  - ・ 時間が2時間半と、とてもちょうどよく感じたので、来年もこのくらいだとよいと思いました
  - ・ 日程のアンケートをとってほしいです
- 3年
  - ・ 医科歯科での開催はぜひ続けてほしいです
- 4年
  - ・ 都内での開催はありがたいです
  - ・ 東京なのはうれしいです
- 5年
  - ・ 11 月中旬の方が若干参加しやすいが、このままでも良い
  - ・ 東京で開催してくれると助かります
  - ・ 東京医科歯科大学が会場だと参加しやすくありがたいです